



鹿児島大学病院広報誌

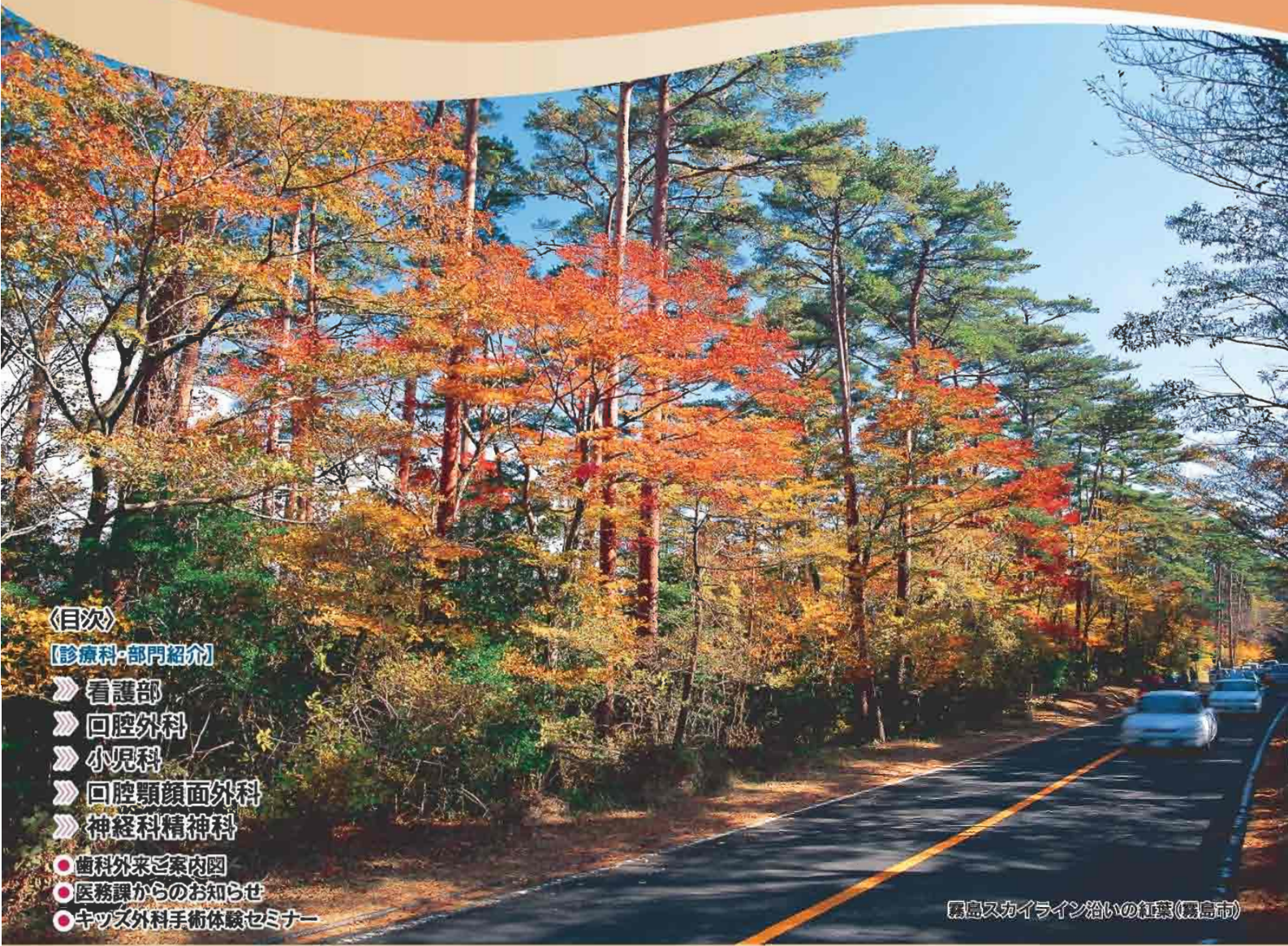
名だより

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会



7号

2007.10



〈目次〉

【診療科・部門紹介】

- 》看護部
- 》口腔外科
- 》小児科
- 》口腔顎顔面外科
- 》神経科精神科

- 歯科外来ご案内
- 医務課からのお知らせ
- キッズ外科手術体験セミナー

鹿児島スカイライン沿いの紅葉(霧島市)

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

〈患者さんの権利〉

1. 誰でも良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
3. 医学的な状態、診断、処置その他の個人情報保護されます。
4. 治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
5. 診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。

〈患者さんの責務〉

1. 医療従事者が最善かつ適切な診療を行うために、自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に伝える責務があります。
2. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするために、院内の医療の妨げとならないように協力する責務があります。

看護部

看護の仕事

当病院では、現在6名の認定看護師(日本看護協会の認定審査に合格し、ある特定の看護分野において水準の高い看護実践のできる看護師)が、看護ケアの広がりや質の向上に貢献しています。今回は、皮膚・排泄ケア認定看護師の活動を紹介します。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、人工肛門・人工膀胱(ストーマ)、床ずれ(褥瘡)やおむつかぶれ、便漏れ・尿漏れ、自己導尿などの排泄障害や皮膚トラブルへの熟練した専門的な知識や技術を用いて、看護現場における実践・指導・相談の役割を果たしています。



1. ストーマ外来:消化器外科外来1を受診してください。

ストーマをお持ちの方は、退院して日常生活に戻られてから、多くの悩み事が出て参ります。安心して自分らしくいきいきと毎日が過ごせるように、ストーマに関するトラブル、日常生活における悩み事、洗腸排便法に関するご相談、ストーマの患者会、ストーマ用品の紹介を行います。

2. 褥瘡(床ずれ)外来:皮膚科外来を受診してください。

床ずれの治療や、再発しないための療養上のアドバイスを専門の医師と共に行います。

3. 失禁外来:便失禁は消化器外科外来1を、尿失禁は泌尿器科外来を受診してください。

便漏れや尿漏れそれぞれの専門の医師が原因を探り治療を行い、看護師は療養上の注意点について専門的なアドバイスをいたします。

ストーマ、便漏れや尿漏れ、おむつかぶれ、床ずれ等の手当や予防、胃ろうチューブや気管切開に伴う皮膚の問題等でお困りの方は、下記までご相談ください。

褥瘡対策室 月～金 9:00～17:00 TEL 099-275-5978

口腔外科、近頃は口腔内科!?

口腔外科

口腔外科は、歯を抜く所と思っていませんか。正解です。“〇〇外科”という診療科は、手術という方法で病気の治療を行います。口腔外科も例外ではなく、親知らずを抜いたり、あごの骨折や受け口、口の中の腫瘍など、色々な病気の手術を行っています。

ところが、最近は病気の種類も多様化し、訴えも様々です。例えば、口腔乾燥症(夜間に口が乾く、口の中がネバネバする)、舌痛症(舌がひりひり、あるいはピリピリする)、味覚異常(味が分からない)、口内炎(粘膜が赤くただれたり、小さな潰瘍ができたり、食べ物がしみる)などです。これらは、いわゆる口の粘膜の病気で、手術で治療できるものではなく、唾液腺の働きや口の中のかびの状態、味覚などを調べ、治療法も様々で時間がかかります。また、あごの関節の病気(口を開けると音がする、口が開かずに痛いなど)も増えています。

歯科の中には、これらを専門に治療する口腔内科と呼ばれる部門はありませんので、気になる症状がある場合は、口腔外科を受診されることをお勧めします。



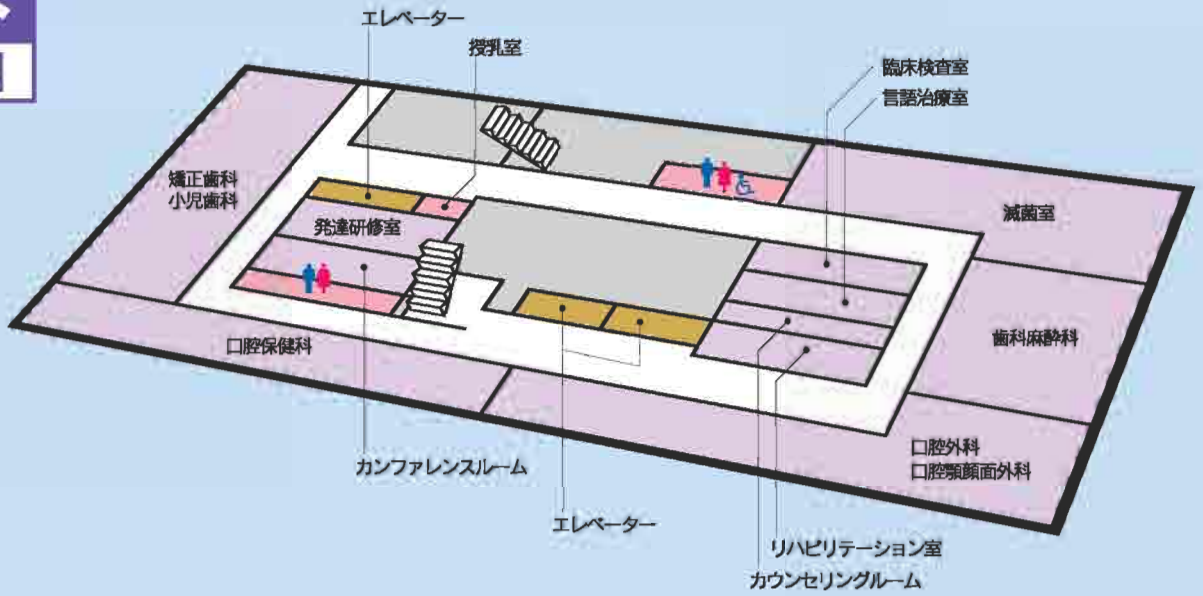
口腔外科ホームページ

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/dental/den08.php>

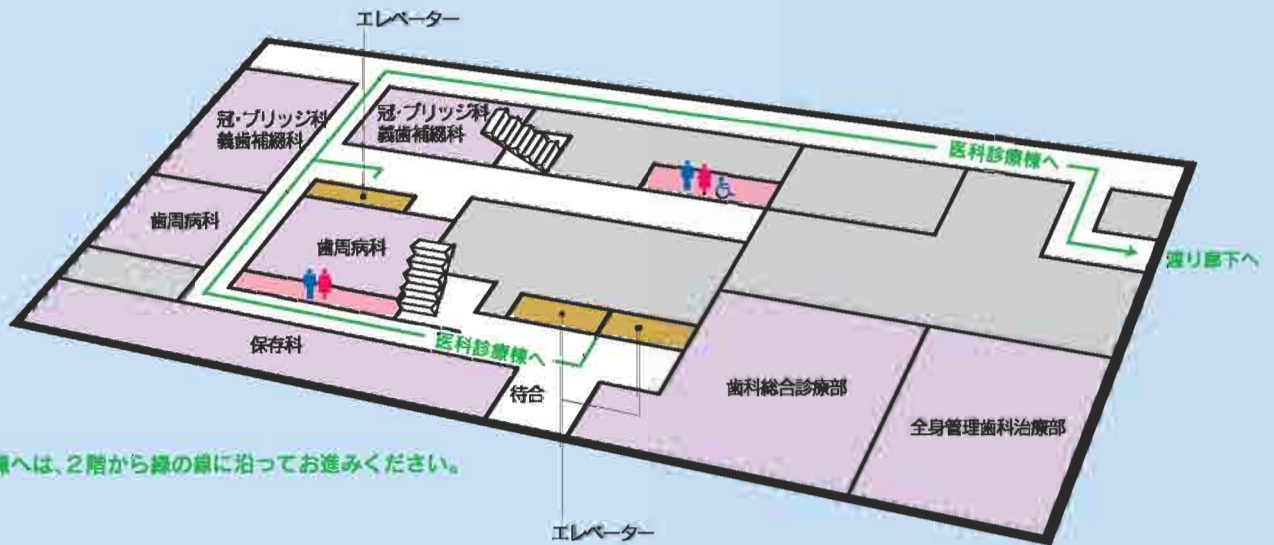
歯科 外来

ご案内図

3F

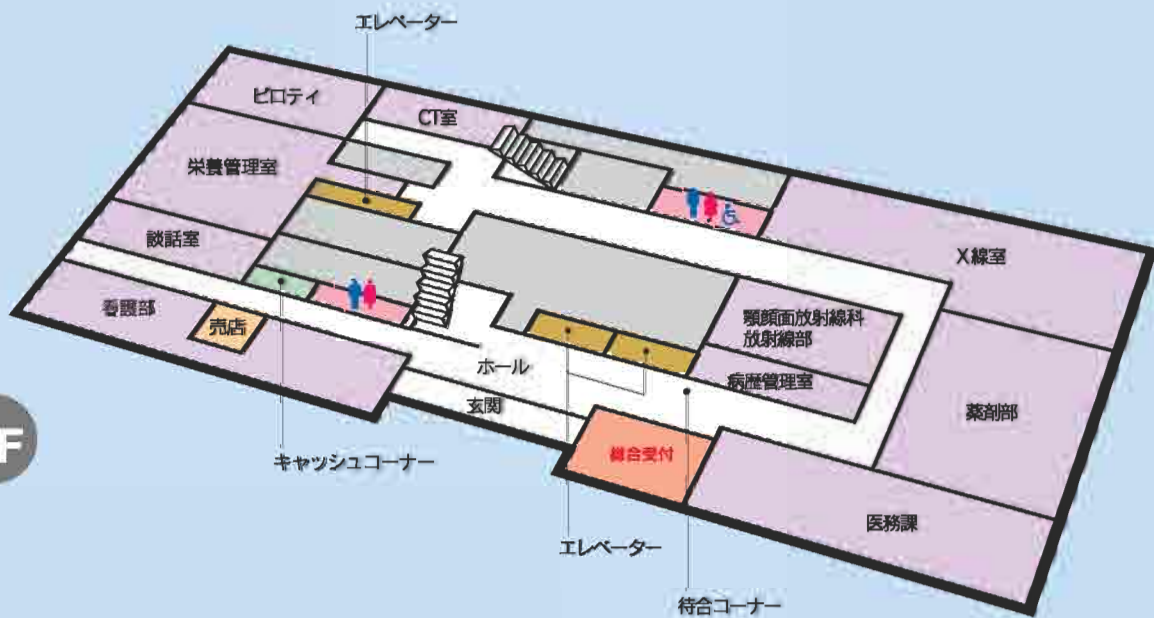


2F



※医科診療棟へは、2階から緑の線に沿ってお進みください。

1F



医務課からのお知らせ

地域医療連携センターが オープンしました

地域医療連携センター(旧離島・地域医療連携室)が7月から、
診療棟2階総合受付待合いホールに移転しました。

患者さんご家族が
安心して療養生活ができるようお手伝いいたします。

- ★入院費が高くなりそうだけど、どんな助成制度を利用できますか？
- ★障害者手帳のことについて知りたい。
- ★介護保険のサービスを受けるにはどうしたら良いの？
- ★がんの相談をするにはどうしたら良いの？
- …など、医療・福祉に関する様々なご相談に応じております。

地域の医療機関等との連携をいたします。

- ★紹介を頂いた初診の方の場合、ファックスによる事前受付で、待ち時間が短くなります。(※かかりつけの医療機関へご相談ください)
- ★セカンドオピニオン外来の受付を行います。

《地域医療連携センター》

- [場 所] 診療棟2階／総合受付待合いホール
 [受付時間] 月曜日～金曜日／8:30～17:00
 [電 話] **事務**:セカンドオピニオン、FAX診療申し込み
 に関する事等
 099 275 5168
ソーシャルワーカー:福祉相談に関する事等
 099 275 6862
看護師:看護相談に関する事等
 099 275 5970



※正診受診は午前6時から午後6時まで(土・日・祝祭日は除く)

小児科

こどもたちの未来のために

小児科はいわゆる小児内科であり専門分野は血液腫瘍・循環器・膠原病・内分泌・神経・腎・アレルギー・感染症と多岐に渡ります。外来もそれぞれの専門に分かれて診ていますが、基本は全身を診るということです。

大学病院の小児科は鹿児島県で3次医療を担っていますので、病棟で診る疾患は一般病院とは異なります。血液腫瘍の症例が病棟の半数を占めクリーンルームを使って造血幹細胞移植(血液・骨髄移植)も随時行われています。循環器疾患については診断治療としてのカテーテル検査を行っており夏休みは検査予約が毎週入っています。また膠原病については全国的にも専門医が少なく、九州内外から専門医の診療を希望して外来受診される方が増えています。

何歳になったら小児科を卒業するの?とよく聞かれますが疾患により様々です。小児特有で小児科医が診た方がいいと判断されれば20歳過ぎても小児科で診る場合があります。こどもたちの健やかな成長発達を支えることが、将来の日本を支える人材を育成することにつながるという気持ちで日々診療にあたっています。



小児科のスタッフ

歯槽堤造成で 食べる生活の質を上げる

鹿児島大学口腔顎顔面外科は、口唇裂口蓋裂治療を始め、口腔癌、顎変形症、顔面外傷、粘膜疾患、口腔顎顔面痛などの診断と治療とともに口の働きの回復を積極的に行なっています。食は健康で豊かな生活を送るのには欠かせないものであり、中でも口の働きは大きな役割を占めています。最近では、高齢者を始め、歯や歯槽(はぐき)を失って食べるのが困難になった方の顎骨の増量(顎堤造成)をはかっています。顎堤造成には再生医学の一手法である骨延長法や、骨再生誘導能をもつ人工材料を使用します。骨造成の結果、安定した義歯の使用や歯科インプラント(人工歯根)の治療が可能となって食生活の質の向上がはかられ、豊かな食の楽しみを提供し多くの方に喜んで頂いています。

先天性疾患、腫瘍や外傷などが原因で歯が喪失してお困りの方のインプラント治療には先進医療(インプラント義歯)が適応されますので、お気軽にご相談ください(TEL 099-275-6640)。

口腔顎顔面外科



骨延長による顎堤造成



インプラント治療終了後

チーム医療を実践する

神経科精神科

メンタルケアセンター神経科精神(当科)は、鹿児島県唯一の有床総合病院精神科(病床45床うち隔離室4床)であるため、統合失調症、気分障害、神経症性障害、認知症などの入院治療のみならず、地域の単科精神科病院から高度先進医療が必要な身体合併症および鑑別困難な疾患を有する患者を受け入れています。特に、身体合併症患者の治療については、総合病院である特性を生かして他科との連携を図り、幅広く受け入れているため、その比率は全国的にみても高いです。

診療体制としては、1グループ7~8人で構成される臨床グループでチーム医療を実践しています。各臨床グループの症例検討会のみならず、教授回診、退院患者および入院中の患者の症例検討会を行い、チーム医療を通して、高度な医療を提供できるよう努力しています。外来診療面においては、一般の外来診療に加えて、「老年期」「思春期」「気分障害」「神経症性障害」などの専門外来を設け、各疾患のエキスパートが診断・治療にあたっています。

メンタルケアセンター神経科精神科ホームページ
<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~np/>



TOPICS

キッズ外科手術体験セミナーを開催

鹿児島大学病院では、平成19年8月4日土曜日、キッズ外科手術体験セミナーを開催しました。

このセミナーは、実際の医療現場で行われる医療・手術に対する理解を深め、鹿児島大学病院に親しみを持ってもらうとともに、外科医の仕事を模擬体験してもらうことにより、子供たちが将来外科医を目指すきっかけになればという目的で実施しました。

今回は、鹿児島市内の中学生24名が参加し、4名1組になって模擬手術をローテーションで体験しました。模擬手術の体験内容としては、糸結び練習、鶏肉を使った縫合練習の他、胃や腸を想定したスポンジを器械によりつなぎ合わせたり、内視鏡器具の操作練習やシュミレーターによる模擬体験、超音波凝固切開装置による鶏肉の切開など、多岐に渡ります。

受講した中学生は、とても熱心に作業に取り組んでおり、アンケート結果では、超音波凝固切開装置による鶏肉の切開が一番好評でした。また、医者の仕事に対して、やり甲斐のある仕事だと思うという意見もありました。



超音波凝固切開装置
による鶏肉の切開

お知らせ

診療科によって初診日が異なりますので、ご確認の上、ご来院ください。
 <お問い合わせ先> 医務課医療サービス係 TEL 099-275-5143

広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気の一般知識など知っておきたいことがありましたら、お知らせください。
 また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより 〈7号〉

2007(平成19)年10月発行
 発行/鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会
 〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692
 【鹿児島大学病院ホームページアドレス】
<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>